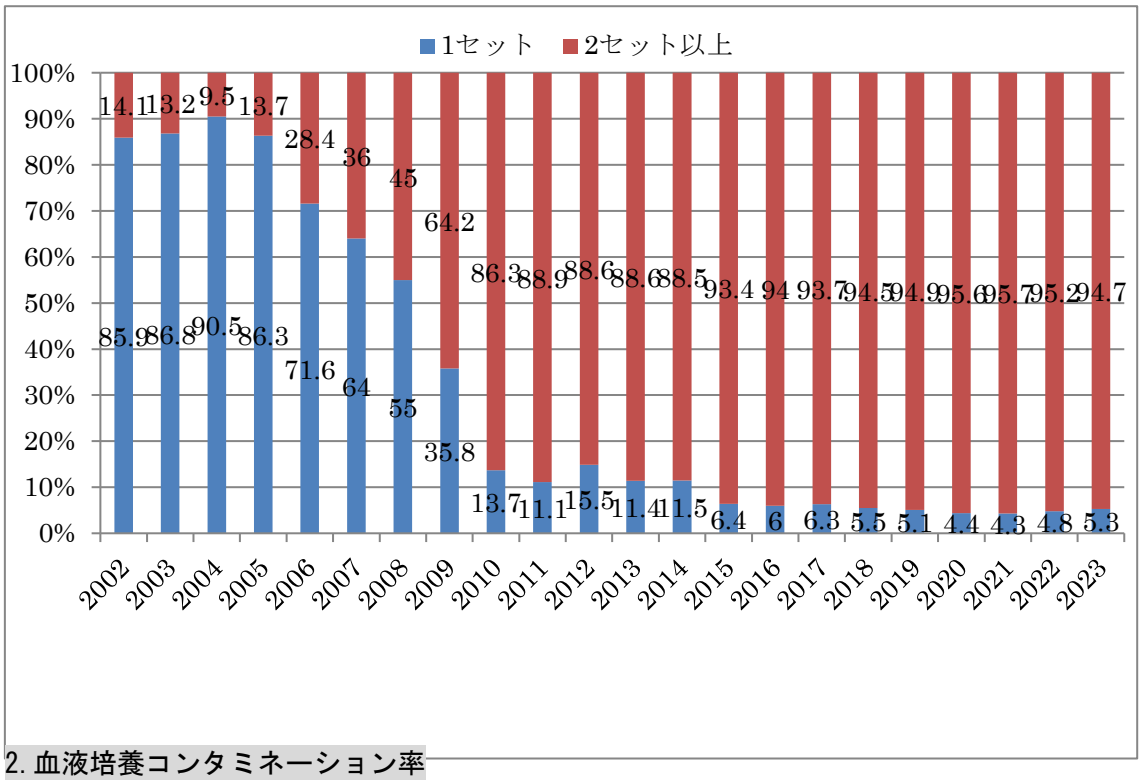
2023 年度臨床指標のまとめ

2024 年 5 月 15 日

倉井　華子

1. 血液培養提出数および複数セット採取率

血液培養は複数同時採取が望ましく本指標で血液培養採取プロセスの適切性の判定が可能



2. 血液培養コンタミネーション率

年度	コンタミネーション率(%)
2012 年度	1.62
2013 年度	1.52
2014 年度	1.32
2015 年度	0.92
2016 年度	0.84
2017 年度	0.76
2018 年度	0.82
2019 年度	0.71
2020 年度	1.14

2021 年度	1.38
2022 年度	1.06
2023 年度	1.28

コンタミネーション率の定義

”コアグラーゼ陰性ブドウ球菌、*Propinonibacterium acnes*、*Micrococcus* 属、緑色連鎖球菌、*Corynebacterium* 属、*Bacillus* 属陽性例において、 同日 2 セット以上血液培養が提出された症例における、 1 セットのみ陽性検体数/2 セット以上提出検体数の合計

参考： 米国におけるコンタミネーション率 中央値 2.89%

3. 菌血症予後

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
陽性延べ人数	436	514	509	514	468	616	614
30 日死亡	22.5%	26.0%	25.3%	29.5%	27.9%	22.2%	29.5%

4. 黄色ブドウ球菌菌血症予後(2011 年後半から全例コンサルトを基本方針とする)

	2013 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
症例数	34	29	35	31	34	48	43
MRSA 率	23.5	34.4	25.7	22.5	17.6	17.2	25.6
心エコー率	79.4	72.4	66	54.8	64.7	66.7	69.8
30 日粗死亡	26.5	31	26	35.4	38.2	39.6	44.1
コンサルト (bed-side)	76.5	79.3	66	61.3	67.6	70.8	69.8

5. カンジダ菌血症

	2015 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
症例数	8	13	11	10	9	9	13
カテ抜去/CV ライン	5/7 (71.4%)	5/8 (62.5%)	8/11 (72.3%)	6/9 (66.7%)	7/8 (87.5%)	7/8 (87.5%)	8/11 (72.7)
眼底チェック	75	69.2	72.3	70	77.8	88.9	76.9
30 日粗死亡	50	46.1	54.5	50	33	33	69.2
コンサルト	75	92.3	100	100	88.9	100	100